

TIMBUK2で語る メッセンジャー

自転車ライフ
を向上させる
カバン!
02

定番アイテムにはその確固たる理由があるものだが、メッセンジャーバッグの定番といえば創業以来、基本構造を変えず約30年のロングセラーを誇るティンバック2。ここにメッセンジャーの原点が垣間見える。

写真/熊谷義久 文/下川冬樹

原点にしてロングセラー
時代を超える完成度を高いカタチ



ダブルループカムバックルにより素早く無駄のない長さに調節できるストラップに、なかの荷物をスピーディに取り出せるベルクロフラップや、その後ろに搭載されているSRバックルは開口部の堅牢さを実現。基本デザインは30年以上前の設計でありながらも、メッセンジャーバッグとしての完成度の高さが特長だ。その一方で、内装に防水TPUライナーとコーナーウィング採用で水の染み込みを防ぎ、ウォーターボトルポケットで飲料の持ち運びも可能。さらに内部ポケットは重さのバランスがキープできるようにレイアウトするなど、着実に現代的な機能進化も。イマドキの自転車人がいつでも必要なものを何でも持ち運べる装備が整った、究極のメッセンジャーバッグだ。

クラシックメッセンジャー 価格1万2100円(Mサイズ)

ブランド代表作のクラシックメッセンジャーバッグ。カーブのついたエアメッシュストラップパッド付きのショルダーで身体にフィット。自転車に乗っているときも快適に着用できる。必要なものをすべて持ち運べるメッセンジャーの原点のモデルだ。

生という日々の冒険に出たい。日々の冒険に変わる究極のメッセンジャー

毎日冒険に変わる究極のメッセンジャー
バイクメッセンジャーだった口ブ・ハーニーカットが1989年、米サンフランシスコで創業したティンバック2は街中を冒険するためのタフなバッグが信条。以来、約30年にわたってつくり続けられる、その原点にしてロングセラーである「クラシックメッセンジャー」にはティンバック2の哲学が如実に反映されている。なにせ、メッセンジャーがメッセンジャーのためにつくったカバンだから自転車ライフでの使い勝手のよさは抜群だ。伝統的なクラシカルな佇まいは受け継ぎつつも、内装に防水TPUライナーやウォーターボトルポケットをレイアウトするなど、いまのニーズに合わせて機能面も現代的に進化。見た目以上に荷物が入るタフボディにそのとき必要なものをすべて積み込んで旅に出れば、何の心配もないというわけだ。自転車人のための信頼できる相棒とともに、人生という日々の冒険に出たい。

TIMBUK2
SAN FRANCISCO

とは

1989年、米サンフランシスコで創業。メッセンジャーバッグを中心に、都会を闊歩し渉猟するアーバン・アドベンチャーのためのタフな道具をつくり続けている。

TIMBUK2を時代をキーワードに語る!

未来

近未来のメッセンジャーのあるべき姿がここに結集!



シーエムビー
2049
価格2万5300円

こちらが未来進化系メッセンジャー。外装に軽量リップストップナイロンを採用し、内装には13インチラップトップ用コンパートメント、サイドからアクセスできるナポレオンポケット、通気性を高めるパッド入りバックパネルなど、極上の使い心地を体現。



フロントフラップのクイックアクセス可能2つのジッパースタッシュポケットや、隠れリフレクトプリント、拡張できるガジェットなど、さり気なく使い勝手のよさを劇的向上。

現在

バランスのとれたメッセンジャーの現在のモデル



フライトクラシック
メッセンジャー
価格1万3200円
(Mサイズ)

外装素材にコーデュラ1000Fを採用し、防水性を高めたティンバック2の現在の代表するモデル。汚れの拭き取りが簡単な内部TPUライナーに、取り外せるリフレクターテール、ペンやケータイ、小物収納に便利な内装ポケット付き。



スムーズアクセス可能なポケットや、容量約21ℓ(ホントに意外に荷物が入る!)の使い勝手のいい内部収納でありつつも、約0.89kgと持ち運びに便利な軽量ボディを実現。

過去

メッセンジャーのシンプルかつ必要最低限を体現



シーエムビー
イシュー
価格1万100円
(XSサイズ)

ティンバック2の過去というべきか、創業以来の伝統が色濃く受け継がれていたクラシックメッセンジャーバッグ。ざらつきのある軽い生地で作られたブランドアイコン的な佇まい。単色のシンプルボディは多目的なイリーユースに最適だ。



ストラップに付けるタイプのアクセサリも手が届いているが、最大18×9.5cmまでの大型のスマートフォンをすっぽりと収納しておける。ここだけが、現在のスペックだ!